

軒天換気材「TM5N」シリーズを発売

～自然災害が激甚化する中、「軒ゼロ住宅」を風雨から守る～

日本化学産業株式会社（社長・角谷 博樹）は、近年、都市部を中心に増加している「軒ゼロ住宅*」専用の軒天換気材「TM5Nシリーズ」の販売を、2026年10月1日より開始します。

当社は、これまで、建築基準法に定められた軒裏の防火性能を満たすと共に、小屋裏換気によって住宅の構造劣化を防ぐ、軒天換気材(防火通気見切縁)「BMシリーズ」をはじめとする軒天換気材を、多くの住宅メーカーに採用いただき、建物の耐久性向上と長寿命化に貢献してきました。

近年、気候変動に伴う、短時間豪雨や台風時の激しい風雨といった自然災害が激甚化する中で、その対応が急務となっています。また、土地価格や建築コストの上昇、建設業における担い手不足など、住宅建築を取り巻く社会環境は大きく変化しています。こうした状況に対し、軒ゼロ住宅における安心・安全と建物の長寿命化、施工の合理化と品質の安定、デザイン性と経済性の両立といった、さまざまな課題の解決をめざして開発したのが、軒ゼロ住宅専用の軒天換気材「TM5N」シリーズです。

軒ゼロ住宅



TM5Nの設置イメージ



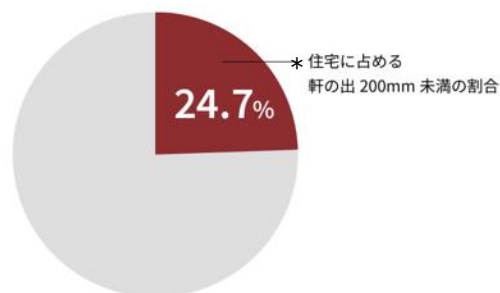
TM5N製品



【軒ゼロ住宅の拡大】

土地価格や建築コストの上昇により、限られた敷地と予算の有効活用が求められています。さらに、シンプルでモダンな外観デザインへのニーズも高まるなか、キューブ型をはじめとする、軒の出（外壁から伸びている屋根の部分）がほとんどない「軒ゼロ住宅」が、都市部を中心に急激に増加*しています。

住宅金融支援機構の「令和5年度【フラット35】住宅仕様実態調査」においても、全国の調査対象物件の24.7%、4軒に1軒が軒の出200mm以下の住宅となっており、首都圏や東海、近畿圏といった都市部では、さらに高い比率となっています。



この調査では、軒の出の長さが「軒の出は無い」と「200mm未満」で24.7%を占めています。
※当社は、軒の出200mm未満を軒ゼロ納まりとしています。



（図表作成／日本化学産業 出典／住宅金融支援機構「フラット35住宅使用実態調査(令和5年度)」）

【軒ゼロ住宅の軒天換気材に求められる性能とは？】

一方で、軒ゼロ住宅は、軒（庇）のある住宅と比べて、外壁や軒天換気材が、直接、風雨にさらされるため、雨水の浸入を抑える必要があります。併せて、「建築基準法」で定められた、建築物の用途や規模、建設する地域等によって異なる、軒裏に求められる防火性能や、「住宅の品質確保の促進に関する法律（品確法）」に即した、建物の耐久性を維持するために換気経路の確保が求められます。

当社は、長年にわたって、大手ハウスメーカーのニーズに対応した、軒天換気材をはじめとする金属加工製品の開発を通じて、独自技術を培ってきました。これが、軒ゼロ住宅の軒天換気材に求められる、さまざまな条件を満たした「TM5N」シリーズの開発につながっています。



防火への対策

狭小地に必要な軒裏の防火基準に対応する。



風雨への対策

建物の換気経路を確保しつつ、雨水の浸入を阻止する。



十分な換気

小屋裏の湿気を排出し、建物の耐久性を維持する。



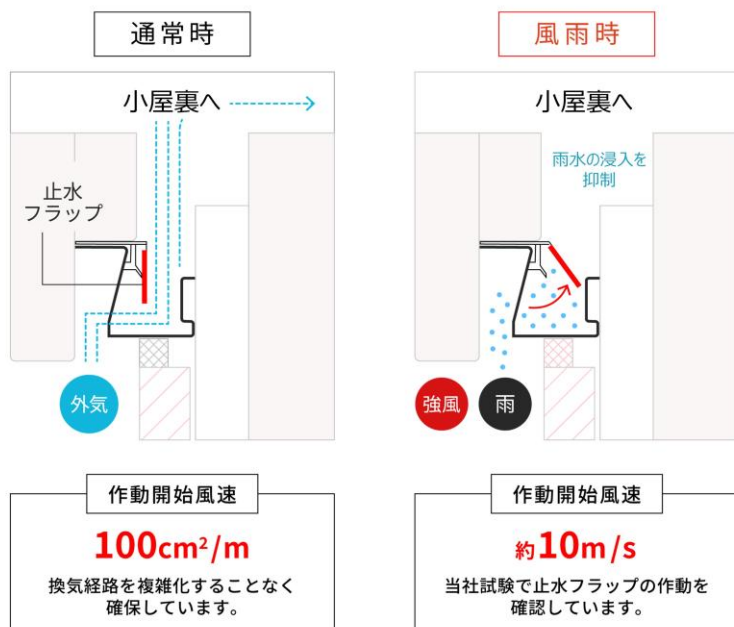
効率的な施工

多様な納まりに、少ない部材と施工パターンで対応する。

【雨水の浸入を抑える、止水フラップ】

軒ゼロ住宅には、「換気性能」と「防水性」の両立が求められます。防水性を優先するあまり、換気経路を複雑にすると、換気効率が悪化する恐れがあるため、「TM5N」シリーズは、当社のロングセラー製品である、「BM2」シリーズの要素技術を応用することで、雨水の浸入を物理的に抑制する、独自開発の「止水フラップ」を搭載しています。風速約10m/sから止水フラップが作動を開始するため、風雨時には雨水の浸入を抑制しながら、通常時は十分な換気性能を確保します。

止水フラップのメカニズム



風雨を再現した試験で防水性を検証



雨を伴った風が吹きつけた際に、どのくらいの風速まで雨水の浸入を防ぐことができるかを表すのが「防水性」です。しかし、軒天部分の防水性に特化した評価方法は、明確には定められていません。そこで、当社では、JISで定められた水密性試験の方法を参考に、独自の実証試験を行い、防水性を検証しています。

【施工方法の標準化による合理化も実現】

また、軒ゼロ住宅は、近年増加してきた新たなデザインのため、施工方法が十分に標準化されてるとは言えない状況にあります。このため、設計や施工管理が、施工者の経験や技能に左右されやすいという課題もあり、軒ゼロ住宅に求められる性能を満たし、安定した品質を確保する、標準的な施工方法の確立が求められてきました。

当社の「TM5N」シリーズは、必要な「役物（パーツ）」のマルチパーパス化を図ったため、住宅のデザインや屋根形状、必要な防火性能が異なっても、役物を組み合わせることで、「TM5N」シリーズひとつで、軒ゼロ住宅の全周に取り付けることが可能です。これにより、施工時間の短縮や施工品質の安定化はもちろん、設計から製品選定、購買、施工までのすべての段階での効率化につながります。



設計

必要性能とデザイン性を両立し、
設計の自由度を向上

多様なデザインや仕様に対応し、設計・仕様決定の負担を軽減します。



購買

仕様の共通化により、
選定・発注・在庫を簡素化

部材の共通化により、選定ミスや部材コストの削減に貢献します。



施工

専用役物で現場加工を減らし、
工期を短縮

施工の手間を抑えることで、施工負担と施工コストの削減に貢献します。



居住者

防火・防水・換気性能で、
安心と住まいの長寿命化

必要な性能と洗練された外観を両立し、快適な住環境を支えます。

破風の有無と防火仕様の組み合わせ 品番対応表

	破風あり	破風レス
準耐火 60 分	TM5N (発泡材なし)	
準耐火 45 分		
準耐火 30 分		TM5N-J (発泡材あり)
非防火		TM5N (発泡材なし)

破風の「あり」「なし」、防火仕様、特殊発泡材の「あり」「なし」に、2タイプですべて対応しています。

【お問い合わせ】

日本化学産業 建材本部 建材営業部
〒340-0002 埼玉県草加市青柳1-1-24
TEL. 048-931-0252
FAX. 048-931-5303

当社では、自社工場で、開発から生産まで、法律に準拠した製品の一貫した供給体制を実現しています。
これにより、お客様のニーズに適した提案をさせていただきますので、まずはお問い合わせください。

<https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/building-materials/>